

令和5年度 第1回 大分市自転車利用推進懇話会 議事要旨

1. 日 時 令和5年6月13日（火）午前10時～11時40分
2. 場 所 大分市役所議会棟4階 全員協議会室
3. 出席者 別紙参照
4. 議 事
 - (1) 令和4年度「バイシクルフレンドリータウン創造事業」の事業報告
 - (2) 令和4年度の数値目標の達成状況
 - (3) 令和5年度取組計画
 - (4) その他

5. 議事要旨

議事（1）令和4年度「バイシクルフレンドリータウン創造事業」の事業報告について

番号	発言要旨	回答要旨
1	【委員】 新規に駐輪場を整備する際には、屋根をつけてほしい。利用率も上がると考える。	【事務局】 大分駅高架下駐輪場のように駐輪場に屋根がついていると利用率が高いが、整備費と維持管理費のコスト面で課題がある。
2	【委員】 サイクルトレインのイベントについて、取り組み自体は良いのに参加者数が乏しいので周知活動を工夫してほしい。	【事務局】 今回のイベントは、JR九州のツアー企画であった。次回以降は周知期間を長くすると聞いている。

番号	発言要旨	回答要旨
3	<p>【委員】 学生が学校から離れるとヘルメットを脱いでいる姿を見かけるので、ヘルメットの必要性をもっと周知してほしい。また、市職員のヘルメット着用について、現時点での着用率と意識向上のための取り組みは何か行っているか。</p>	<p>【事務局】 学生のヘルメット着用については継続的に周知していきたい。また、市職員のヘルメット着用率は努力義務前の時点で1割強ほどであった。職場内広報紙等を通して啓発活動を行っており、年度末にヘルメット着用についてのアンケートを行う予定。</p>
4	<p>【委員】 自転車マップの配布はどのようにしているか。</p>	<p>【事務局】 支所窓口やイベント等で配布しているほか、自転車販売店等にも置いてもらっている。</p>
5	<p>【委員】 サイクルツーリズムの今後の取り組みについて、具体的に教えてほしい。</p>	<p>【観光課】 昨年度はコースの選定（施設のピックアップ）を行ったが、施設の受け入れ態勢が進んでいないのが現状。今年度はコースの周辺環境や宿泊施設等も調査していきたい。また、大分県もサイクルツーリズムを推進しているので、県の取組と連携して受け入れ環境の整備をしていきたい。</p>

番号	発言要旨	回答要旨
6	<p>【委員】 ヘルメット着用について、より多くの人に着用してもらうためにどのような取り組みをするつもりなのか。</p>	<p>【事務局】 ヘルメット着用については「努力義務」という点が着用を促すにあたって難しいところである。市の事業である自転車ヘルメット着用サポーターでは電動アシスト自転車を貸し出す際に乗車時のヘルメット着用を条件にしているが、アンケートによると「周りが被っていないから」という理由で着用に至らない場合が多い。警察等と連携しながら啓発活動を行っていききたい。</p>
7	<p>【委員】 自転車の利用促進について、市民に対してもっと直接的に働きかけをしてほしい。例えば、事業者との連携や SNS の活用、安全講習の回数を増やす等。</p>	<p>【事務局】 関係機関と連携して自転車利用者等のターゲットに応じた啓発活動に取り組んでいきたい。また、SNS の活用については、現在、市が運営する公式アカウントで周知を実施しているので、今後も続けていきたい。</p>
8	<p>【委員】 学校訪問は、なぜ小学校のみの実施なのか。高校生に対しての取り組みは。</p>	<p>【事務局】 小学校のみ学校訪問を行うのは、自転車に乗り始める年代であるため。また、高校生に対しては自転車マナーアップ推進モデル校の指定をしている。</p>
9	<p>【委員】 自転車安全利用五則の周知について、市が作成した啓発チラシのデータを販売店や自転車商組合に提供してはどうか。</p>	<p>【事務局】 啓発チラシについては市のホームページに掲載しており、ダウンロードも可能なので、今後周知していききたい。</p>

番号	発言要旨	回答要旨
10	<p>【委員】 サイクルトレインについて、ドイツやフランスでは日常に浸透しているが、市としてはどれほど力を入れているか。また、大都市でサイクルトレインを先進的に取り組んでいる自治体はあるか。</p>	<p>【事務局】 資料に挙げているサイクルトレインのイベントは JR 九州主催のもの。JR 九州から聞いた話では、まずは土日の通常運行便に乗せることを目標に取り組んでいるとのこと。また、サイクルトレインは大都市での事例がなく、先進的に取り組んでいる自治体を挙げるのは難しい。</p>
11	<p>【委員】 健康づくり推進事業はもっと活用していくべきだと思う。単にサイクルツーリズムのルートを策定するだけでなく、女性向けや親子向けに周知したり、観光と絡めたり等、工夫を凝らしながら、事業を有効活用してほしい。</p>	<p>【事務局】 今後も各課で連携しながら健康づくりに努めていきたい。</p>
12	<p>【委員】 電動アシスト自転車普及促進事業の利用者アンケートについて（資料 1 P15-16）健康面・体力面の変化が具体的にどのようなように変化したのか具体的なデータを示した方が説得力がある。</p>	<p>【事務局】 事業を開始した令和 2 年度には、貸出の前後に健康診断と体力測定を行った結果があるのでそれらも活用しながら周知していきたい。</p>

その他意見・要望について

番号	委員発言要旨
1	たのうららは大分県のサイクルツーリズムにとって重要な施設だと思うので、力を入れて取り組んでほしい。
2	バイクラックを置いている店舗がほとんどないので、補助金制度をつくる等、バイクラックを普及させるための施策を考えてほしい。
3	サイクルツーリズムについて、自転車を利用しない人にも興味を持ってもらえるような取り組みをしてほしい。
4	ヘルメットを着用している人は、学生とスポーツバイクユーザーが多い。個人的に、大分は東京と比べて着用率が高いと感じる。また、ヘルメット着用率が低いのは、ヘルメットの生産が追いついていないことも影響していると考える。
5	自転車誘導サインがあると、車道を自転車で通行して良いのだという安心感が生まれるので、今年度も引き続き取り組んでほしい。

議事（2）令和4年度の数値目標の達成状況について

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>【委員】 自転車事故の件数について、 数に反映されていない事故も実 際は多く起こっているはず。自 転車の細かいルールについて、 もっと周知してほしい。</p>	<p>【事務局】 今後検討したい。</p>
2	<p>【委員】 自転車利用者の裾野を広げる 意味でも都市広域圏サイクリ ング等のイベントで、一般市民が 参加しやすいルート策定等が必 要。</p>	<p>【スポーツ振興課】 今年度も都市広域圏サイクリ ング大会を実施予定で、ルート 設定等については他の自治体担 当者と協議したい。</p>

議事（3）令和5年度の実施計画について

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>【委員】 雄城台高校下 (R442) の自転車 道について、対面通行を要望す る声が多かったとのことだが、 一方通行が望ましいと考える。</p>	<p>【事務局】 整備手法については国のガイ ドラインに沿って行っており、 最終的には道路管理者が決定し ている。</p>
2	<p>【委員】 別府港に海外の自転車ユーザ ーが乗った豪華客船が来航した とニュースで見たが、その件に ついて何か知っているか。</p>	<p>【委員】 旅行会社が主催したツアーな ので、行政は関係していないと 思う。個人的には良い取り組み だと思う。</p>